

神戸市立桜の宮中学校 学校便り

# 桜調べ



平成31年3月1日(金)  
3月号



## 機は熟した 44回生、今旅立ちの時!



3年総務 野 □ 忠

将来、運転免許を取得しようとする人は、教習所に通って、まず、教習所内で運転技術を磨き、やがて路上教習で教習所の外へ出て練習をするようになります。中学校卒業とは、まさに路上教習の段階に入ったということです。

今までは、さまざまな庇護のもと、課題解決に努力し技量を高めてきました。卒業後は、その庇護がなくなり、さらなる困難に立ち向かっていくことになります。でも、だいじょうぶ!

この3年間にあなたは、多くの人と出会い、刺激を受け、学び、成長してきました。盲導犬講習会、車いすバスケット講演会、進路講演会、障がい者スキー講演会など、日常生活の中では感じることでできない体験とお話を通して、人権感覚を磨き、ヒトとしての感性をたかめてきました。

これ以外にも、トライやる・ウィークでお世話になった事業所や、修学旅行でのベンションステイ先のオーナーさんなど、いったい何人の人と出会い、お世話になってきたことでしょうか。そして、卒業後はさらに多くの方々とのお出合いが待っています。常にその出会いに感謝し、そこから何かを学びとる姿勢を忘れなければ、さらに成長し続けることができるでしょう。

また、3年間取り組んできた防災学習をとおして、命を守る難しさを知り、防災、減災の大切さを学びました。ぜひ、学んだことを発展させ、救える命を増やす意識を持ち続けてほしいと思います。

最後になりましたが、保護者のみなさまには、学年保護者会などの行事のたびに、多数の参加をいただき、生徒たちの活躍しているようすをみていただきました。家庭では見られない、別の一面をみていただき生徒たちの励みになりました。至らない点も数多くあったと思いますが、最後までお力添えいただき、44回生の所属職員一同感謝しています。3年間本当にありがとうございました。

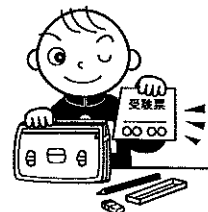
### 平成30年度私立高校入学試験合格者数および公立高校推薦結果

私立高校

学 校 名	人 数
関西学院高等部	1
育英	3
神 港 学 園	1
須 磨 学 園	6
神 戸 星 城	9
神 戸 村 野 工 業	2
滝 川	1
神 戸 野 田	4
神 戸 龍 谷	13

公立高校

学 校 名	人 数
県立兵庫工業	1
県立神戸甲北	3
市立神港橋	1



# 月中行事予定

日	曜	全 校 的 行 事	そ の 他	給 食
1	金	安全点検	PTA 運営委員会18:30~ 県立特支高等部再募集(~5)	○
2	土			
3	日			
4	月	全校朝集	公立志願変更	○
5	火	早朝清掃		○
6	水	卒業式予行	部活動休養日	○
7	木	学年朝集 卒業式準備	SC 県特支高等部再試験	○12
8	金	卒業式		
9	土			
10	日			
11	月	全校朝集		○12
12	火	公立一般入試	公立一般入試	○12
13	水	2年学年保護者会(45×4+50×2) 2年5・6Pハローオリンピアノーチャイムデー	ふれあい懇話会	○12
14	木	学年朝集	SC 県高特支再発表	○12
15	金	1年神戸マイスター (5・6P)		○12
16	土		PTA 本部新旧引継会15:00~	
17	日			
18	月	全校朝集		○12
19	火	公立合格発表	公立合格発表	○12
20	水		再募集出願(~22)	○12
21	木	春分の日		
22	金		部活動休養日	○12
23	土			
24	日			
25	月	修了式 油引き 新入生物品引渡し14:00~		
26	火	春季休業		
27	水		部活動休養日	
28	木			
29	金			
30	土			
31	日			

SC(スクールカウンセラー)

## 4月主な行事予定

8日(月) 離任式・始業式  
9日(火) 着任式・入学式  
12日(金) 歓迎行事

13日(土) PTA学級委員総会  
26日(金) PTA総会

H30年度 学校評価 保護者アンケート結果

	昨年度	今年度	増減
<b>A 一人一人の自立に向けた力を伸ばすことについて</b>			
1. 学校は特色ある教育活動を行っている。	3.0	2.8	↓
2. 学校は公開授業や懇談会などの機会を設けている。	3.7	3.6	↓
3. 学校は情報を発信している。	3.3	3.0	↓
4. 学校便りの内容は適切である。	3.4	3.4	→
5. 学校はプライバシーの保護に配慮している。	3.5	3.1	↓
6. 部活動は活発に行われている。	2.5	2.5	→
<b>B 教職員・学校の魅力と実力を磨き高めることについて</b>			
1. 学校は教育方針を分かりやすく伝えている。	3.2	2.7	↓
2. 学校は保護者や地域の願いに応えている。	3.1	2.5	↓
3. 学校はいじめなどのない学校づくりに取り組んでいる。	3.2	3.2	→
4. 学校の施設・設備は整備されている。	2.9	3.1	↗
5. 学校は安全や事故防止に配慮している。	3.3	3.1	↓
6. 学校は子どもが活躍できる行事を行っている。	3.2	3.0	↓
<b>C 市民が自ら学び子供の育ちを共に支えることについて</b>			
1. 学校の教育方針や活動内容を理解している。	3.0	2.8	↓
2. 学校とのコミュニケーションを図っている。	2.9	2.9	→
3. 授業公開・学校公開には積極的に参加している。	2.8	2.9	↗
4. 学校からの配布文書は必ず目を通してしている。	3.3	3.3	→
5. 学校の行事はできるだけ参加しようと思っている。	3.2	3.3	↗

自由記述欄

A 一人一人の自立に向けた力を伸ばすことについて

- ・人数の少ない学校なので、もっと特色のある教育方法を考えて行ってほしい。学力を上げる、など。
- ・とても難しい年ごろですが、頑張ろうとしている姿が見えたときは、手を差し伸べていただける先生・環境であってほしいと願っています。
- ・熱心に部活動を指導してくださり感謝しています。そんな部活がなくなるのはとても残念です。
- ・昨年4月の突然の部活休止発表から、前倒しの募集停止部の発表、明確な理由もないまま今日に至り、子供たちの不信感・不安感は計り知れないと思います。生徒が意見を述べ合っている場を整えることが子供たちの成長にもつながることだと考えます。また、保護者や地域の方たちの意見をきく機会も必要だと思います。(同様の意見複数)
- ・学年進捗とともに、周囲に信頼してもらい、自信が持てるようになってきたと感じています。
- ・少人数なので手厚くすべての分野で見えていただいていると感じています。
- ・人数がすくない学校のため、目が行き届く反面、全体としてできることに限りがあるのが少し残念です。部活動が減る方針と聞いています。子供の体力面や興味のあることを伸ばせる場をもっとつくってほしいと思います。
- ・生徒数も先生の数も減っていて「活発な部活動」は厳しいと思いますが、近くの学校と合同にするなど、何か対策は無いのでしょうか。中学生にとって、勉強以外に打ち込むことができるものがあるのは大切なことだと思います。拠点校は指定の学校が遠い場合もあり、移動だけで時間がかかります。何とかできないでしょうか。
- ・得意なことも不得意なこともそれぞれに経験させてもらい、子供はのびのびと学校生活を送っています。

B 教職員・学校の魅力と実力を磨き高めることについて

- ・夏の暑い時期の部活動や体育館での授業で、子供たちの熱中症対策が少し甘いように感じます。
- ・色々と考えていただいているとは思いますが、時に疑問に感じることがあります。例えばテスト問題の出し方について、習っていないところが出題されるなどです。
- ・今回の部活動の件は、一部の先生方の願いであり、子供たち・保護者・地域の願いではないと感じます。
- ・学校便りに紹介される名前が間違われると、心を込めて付けたのに、と悲しくなります。
- ・一部手すりの無い階段があるようです。改善を望みます。
- ・保護者会など、参加できない場合にも書面で内容を知らせてほしい。「教育方針を伝える」ことにもつながるのでは。
- ・もっと先生方が一人一人の子供たちと向き合えたら良いと思います。我が子だけかもしれませんが、先生に相談をしていると聞いたことがないので。
- ・部活動について、今さら拠点校制度で新たにスポーツをするのもハードルが高く、単に拠点校で部活をすれば

良いなどと簡単なものではありません。選択肢のない状況は子供たちにとって大切な時期を奪っていると思います。もう一度考え直していただきたいものです。この中学に通わせて何も得るものが無いという不信感があります。

- ・部活動の休部について、経過報告もなく生徒への突然の報告に驚きました。保護者会はあったようですが、その内容について、学校からお手紙がありません。なぜですか。子供たちや保護者の意見にはどう対応されたのでしょうか。
  - ・毎日楽しく通学しており、ありがたく感じています。子供たちは学校が大好きで、夏休みなどの長期の休みは要らない、と言っています。
  - ・教職員数も少ない中で一生懸命していただいていると思いますが、パンクしてしまわないか心配です。外部の方を上手く使う組織づくりをしていただきたいと思います。
  - ・一部のよくできる生徒には評価が高く、平均的な生徒に対しては、そうでも無いように感じます。
  - ・学年を越えての縦のつながりが素晴らしいと思います。
  - ・子供に寄り添っていただいているので、このまま、またはそれ以上に寄り添ってほしいと思います。
- C 市民が自ら学び子供の育ちを共に支えることについて**
- ・具体的に学校とどうコミュニケーションをとっていけば良いのでしょうか。
  - ・時間の許す限りは行事等に足を運ぼうと心がけています。月初めなるべく早くに学校便りを配付していただくと助かります。
  - ・HPで日々の学校生活の様子が見られるので楽しみにしています。
  - ・子供がプリント類を出さないことが多く、困っています。
  - ・先生方の数も減っている今、PTA活動も厳しいと感じています。先生方には大変尽力していただいていると感じています。

学校評議員会(2月18日実施)記録

○ 学校評価 保護者アンケート結果より

- (評議員意見交換)
- ・中学生が手伝いに来ている様子を見ていると、とても頼もしく感じる。小学生も喜ぶ。部活動は生徒にとっては非常に大きい部分であり、そのことがグロウアップされているのが大変だと感じる。
  - ・部活動数適正化は仕方がないが、該当部活動の生徒・保護者は、その部活動の伝統が途切れてしまうことを残念がっている。部活動では、協働作業での連帯感や達成感を味わうなどして、授業では学べないことを学んでいる。
  - ・生徒が少ないと先生の数も少ない。地域の人材を有効に活用してもらえればと思う。
  - ・家庭や地域が負うべき子供の育ちの支援を、学校が肩代わりしてきた部分は大きい。しかし、「働き方改革」のもとで、必要以上に割り切った教員が出てくることも危惧される。
  - ・部活動休養日という言葉があるが、休みはどうなっているのか。
  - ・平日2時間、休日3時間程度という規定と、平日と休日にそれぞれ1日ずつ休みを設定する旨がガイドラインに記されている。
  - ・不登校生の状況を学校が詳しく把握すべしとの見解が国から出された。ようやく、という思いがある。また、自転車の安全な乗り方についても指導を願いたい。実際に、自転車に乗っている小学生が歩行者と接触事故を起こし、重傷を負わせる事案が近隣で起こった。
  - ・大津事件の民事裁判の判決が今日(2月18日)出る。いじめ事案には、いじめられた側だけでなく、いじめた側にもしっかり対応して欲しい。

○ 学校より

- ・普通教室のICT環境が全市で整えられていく方向。質の高い授業を目指していきたい。
- ・子供のそばには必ず教員がいる、という原点を忘れず、子供の動きに先んじて動ける教員集団であるよう努めるとともに、保護者や地域の方たちの支援を得ながら、安心・安全な学校づくりに努めていきたい。

部活動数適正化について

○ 32年度(2020年度)新入生から入部の募集を行わない部活動

- 男子バスケットボール部 女子ソフトテニス部 に決定いたしました。
- 決定にあたっては、活動場所、男女の割合、小学生(4~6年生)の入部希望状況、団体・個人のバランス、顧問の専門性等を考慮し、総合的に判断いたしました。なお、書面での発表は、先日の学校評議員会を終えてからと考えておりました。公表が遅れましたことをお詫びいたします。申し訳ありませんでした。
- 部活動の休部及び活動再開について、今後も継続的に検討を行ってまいります。ご理解のほど、何とぞよろしくお願いいたします。